



ノロウイルスによる 感染症・食中毒を防ぎましょう!



ノロウイルスは、カキなどの二枚貝を汚染し、冬場を中心に食中毒の原因となるほか、しばしば感染性胃腸炎の集団感染を引き起こします。「食品から人」だけでなく、「人から人」にうつるという特徴のためです。その感染力は、強力で、多くの遺伝子が存在するため、一度感染しても、異なったタイプのウイルスに感染して、再び同じような症状に見舞われることもあります。さらに回復後もしばらくウイルスは排泄され感染を広げます。

抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では重症化することもあり、小さなお子さんやお年寄りがいる家庭、保育園・幼稚園や高齢者施設では特に注意が必要です。保育園・幼稚園や小学校、高齢者施設で多発している集団感染は、「人→人」「人→食べ物→人」の感染ルートがほとんどです。学校などで子どもが感染し、家庭のトイレなどから家族に感染が広がるケースもみられます。ノロウイルスには特効薬やワクチンがないだけに、予防に努めることが重要です。

☆感染ルートは3つ

- ①**人→人** 感染者の便やおう吐物を触った手指についたウイルスが口に入り感染します。空気中に飛び散った、ウイルスを含んだ便やおう吐物の微粒子を口から吸い込むことで感染することもあります。感染者が触れたドアノブ、水道の蛇口、車いすの押し手などに触れた手指から感染することもあります。
- ②**人→食べ物→人** 感染者が調理した物や、感染者や汚染された食べ物が触れた調理器具から食べ物にウイルスがうつり、それを食べることで感染します。
- ③**食べ物→人** ウイルスが蓄積したカキなどの二枚貝を食べて感染します。ウイルスに汚染された水道水や井戸水から感染することもあります。

☆対策

- ①**手洗い** 感染予防の基本です。石けんをつけて泡立て、手のひら・手の甲をこすり合わせます。指先、爪の間、親指、手首も忘れずに洗いましょう。
- ②**便・おう吐の処理** ペーパータオルなどで、ウイルスを飛ばさないように静かに拭き取り、拭き取った汚物や汚れたおむつ等は、すぐにビニール袋の中に入れ、きちんと縛って捨てる。ビニール袋には、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ、消毒するといっそう効果的。汚染された場所は、0.02%次亜塩素酸ナトリウムを浸した布などで拭き、10分程度たったら水拭きする。（※次亜塩素酸ナトリウム消毒液は、漂白剤を薄めることでつくれます）冬季の、乳幼児や高齢者の便・おう吐物にはウイルスが大量に含まれていることがあります。
- ③**食品などの加熱殺菌** ノロウイルスに汚染されている食品でも「中心温度85℃以上で1分間以上の加熱」をすれば、感染性はなくなるとされています。乳幼児や高齢者には、中心部までしっかり加熱した食べ物を提供しましょう。

☆妊婦健診を受けられる方へ☆

平成23年1月より、ヒト白血病ウイルス-1型（HTLV-1）抗体検査が、妊婦健診の項目に追加されました。

【対象】 妊娠30週頃までの妊婦

- 【方法】
- ①平成23年1月までに、母子健康手帳の交付を受けている方は、妊婦健診を実施している医療機関で無料券を受け取ってください。
 - ②平成23年1月以降に母子健康手帳の交付を受けられる方は、母子健康手帳交付時に、追加の無料券をお渡しします。
 - ③県外で妊婦健診を受けられる方は、事前に朝日町役場町民福祉課窓口にて追加の無料券を発行しますのでお問い合わせください。

※すでにヒト白血病ウイルス-1型（HTLV-1）抗体検査を実施された方への助成は行っておりません。
 ※12月下旬に対象の方へ個別に案内しております。

問い合わせ

朝日町役場 町民福祉課
 子育て支援室
 TEL：377-5652

